



## 新年のご挨拶

公益財団法人京都府生活衛生営業指導センター 代表理事 **山岡景一郎**

新年あけましておめでとうございます。  
皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、平成も30年を迎えました。今上天皇は来年4月末に退位し、翌5月1日から新しい元号となることが昨年末に決まりました。来年のことではありますが、新元号に変わることは新年を迎えること以上に気持ちが引き締まる思いがし、また、時代が変わっていくことを実感いたします。今、平成生まれの人が全人口の4分の1ほどになってきたと聞きます。いずれ昭和生まれの人を追い越します。また、次の新元号の時代の人を平成の人を追い越すこととなるのでしょうか。時代は確実に変わっていきます。蕉門俳諧の理念のひとつに「不易流行」というものがあります。解釈は色々あるようですが、時が目まぐるしく変わるときに、それに応じて変えていくべきものと変えてはいけな基礎基本土台となるものを見極め（ただ、その見極めが大変難しいものとは思いますが）、その時代時代に応じた身の処し方が大事ということではないかと解釈しています。今、生衛業の現

状を見てみますと、来年10月に予定されている消費税の増税・軽減税率への対応、後継者難など難しい課題を抱えながら、年々増加する外国人旅行者にどう対応していくのかなど、生衛業にとって本当に厳しく激しい時代の流れというものがあると思います。また、年々減少する組合員数の確保に向け、どこの組合も大変な努力をいただいていると承知していますし、確保のために様々な工夫を凝らしていることも承知しています。結果も大事ですが、プロセスも大事です。要はあきらめないことです。今いる組合員を大事にしながら、着実に確実に一人一人を確保することが大事なことだと思います。

今年も色々な事があると思いますが、当指導センターにおきましては、皆様のサポート機関として生衛業が更に発展していくように精一杯努力させていただきます。引き続きのご支援とご協力をお願いします。

結びに、ご家族皆様のご健勝とご多幸、ご家業の弥栄を祈念しまして、新年の挨拶とさせていただきます。



謹んで新春の

お慶びを申し上げます

公益財団法人京都府生活衛生営業指導センター

理事長 (代表理事) **山岡景一郎** 社交料飲

副理事長 **佐竹 力總** 料理

副理事長 **三嶋 吉晴** 麺類飲食業

専務理事 **石川 徳雄** 指導センター

常務理事 **宇治田脩孟** 寿司

常務理事 **中西 三郎** 興行

理事 **森田 朗** 京都府

理事 **西原 和美** 京都市

理事 **西堀 慎介** 理容

理事 **阿部 弘** クリーニング

理事 **中井 義昭** 公衆浴場業

理事 **小野 善三** 旅館ホテル

理事 **森村 義明** 食肉

理事 **奥田 英一** 美容業

理事 **河原 昭雄** 倉肉肉製業

理事 **浅沼 健夫** 喫茶飲食

理事 **武田 淳一** 中華料理

理事 **牧野 順二** 飲食業

監事 **粟津 暢彦** 美容業

監事 **武原 賢三** 飲食業



### 明日の京都を描くため

京都府知事

# 山田 啓二

府民の皆さま、あけましておめでとうございます。

#### 昨年を振り返って

京都府では、林田・荒巻府政以来築き上げてきた社会基盤がいよいよ実を結ぶ時期となりました。昨年4月に新名神高速道路の城陽・八幡京田辺間が開通し、ついに京都は京丹後市から木津川市まで高速道路によってひとつに繋がりました。

「海の京都」、「森の京都」と続き、昨年は「お茶の京都」事業により、南部地域全体に大変多くの人々が訪れるとともに、北部地域では、美しい絹織物の地「丹後ちりめん回廊」が日本遺産に認定されるなど、観光面でも過去最高の賑わいとなり、府域全体が大きな盛り上がりを見せた一年となりました。

また、文化庁の全面的京都移転も正式に決定、移転場所も府庁の警察本部本館に決まり、名実ともに京都が「文化首都」と位置付けられ、文化芸術立国に向け大きな役割を担うことになった重要な節目の年となりました。

しかしながら一方では、依然、我が国周辺で安全保障について大きな緊迫感が続くとともに、少子高齢化や東京一極集中の加速、子どもの貧困など様々な課題が改めて浮き彫りになった一年でもありました。

#### 未来を切り拓く鍵

こうした背景には、少子高齢化や情報化、国際化の中で、家族形態も含め社会の多様化が進展することに対して、「地域の力」「自治の力」が低下し、旧来の制度や考え方では支えきれない局面が生まれてきたことがあげられると思います。

特に近年では、様々な格差の問題や孤立社会といわれる無関心時代の到来も指摘される中、京都府では、従来から地域力再生を掲げ、地域の絆などの新しい地域づくりの環境・土台を基に、半公半Xの公共員制度や地域の公民の生活機能を集中化したコミュニティコンビニの整備、子ども食堂や居場所づくりのためのこどもの城事業、さらに高齢化時代に医療、介護、福祉を連結させる地域包括ケアの推進、女性活躍から障害のある方の農業分野での活躍を支える農福連携など、幅広く「共生社会」の実現に向け取り組みを進めてまいりました。



### 世界文化自由都市・京都の実現を目指して

京都市長

かどかわ

だいさく

# 門川 大作

あけましておめでとうございます。

新年に当たり、皆さんの御多幸を心からお祈りいたします。

皆さんの御支援をいただき、市長就任後10回目の新年を迎えました。この間、徹底した現地現場主義で八千近い市民活動や市政の最前線を訪れ、京都の今を見つめ、未来のためにまい進してまいりました。

「美しいまち京都が誇らしい」「まち歩きを安心して楽しめるようになりました」。多くの方からこうしたお声を頂く度、京都のまちが着実に深化してきたことを肌で感じ、嬉しく、御尽力の皆さんに感謝しています。

そして迎えた本年。京都が最高の都市理念として掲げた世界文化自由都市宣言から40年です。「広く世界と

#### 新しい時代へ

今年、「明治」への改元、そして京都府の設置から150周年にあたります。当時、京都では、多くの人や産業が東京へ移り、3分の1の人口が減少したため、千年にわたって都として栄えた京都は、かつてない大きな危機に直面しました。

そのような激動の時代にあっても、京都府は、日本初の小学校（上京27番組（柳池）小学校）や女学校（新英学校および女紅場）、盲ろう学校（京都盲啞院）の開校、府立医科大学の前身である医学校を療病院に付置、京都大学の前身である第三高等中学校の大阪からの誘致、同志社大学の設置許可など人づくりを中心に府政を進め、さらに琵琶湖疏水の建設や経済界とも連動した京都博覧会の開催で産業の振興を図り、西陣織や茶業など様々な分野で新たな取り組みを進め、京都を復活させました。これが京都府政の原点であります。

そうした先人たちの努力が今日の京都の礎を築いてきたのであり、そこには、どんなに困難なときも未来に投資をして、未来のために現代を生きる京都の気概があります。

この150周年という節目を迎えるにあたり、今の京都の基盤が形作られてきた明治の時代を振り返り、常に先進的な取り組みを続けてきた先人たちの姿勢を受け継いで、新しい人づくりと文化づくりによって京都の生き方が一層魅力あるものになるように、私たちは全力を挙げなければなりません。

京都には今、年間8,700万人もの観光客が訪れており、世界的にも日本、そして日本文化のふるさと・京都への関心が高まっていますが、2019年から3年連続でラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ2021関西と大規模な国際大会が開催されます。

この機を捉え、「京都文化力プロジェクト2016-2020」をはじめオール京都で力を合わせ、京都から日本の文化を発信し、大きな交流の渦が巻き起こるよう、全力を傾けてまいりたいと存じます。

人と文化によって地域の資源、歴史、伝統を活かし、人と人が支え合う共生社会の実現により、地域の力を再び取り戻し、新たな時代を切り拓くため、共に歩んでまいりましょう。

私は、この4月で任期を全うする予定でありますが、この一年の、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

文化的に交わることによって、優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市へ」。この理想の実現を目指し、「文化」を基軸としたまちづくりを更に加速させる年がスタートしました！

文化庁が機能を強化し、2021年度に京都へ全面的に移転。これを大きな力に、子育て支援や教育・福祉、観光、景観、環境、中小企業の活性化、雇用の創出、安心安全など、あらゆる施策に文化で横串を通す。さらに、文化や地域活動に親しむ「京都ならではの働き方改革」でまちに一層の活力を生み、地方創生のモデルを示す。新年を迎え、決意を新たにしています。

そして本年は、明治維新から150年。都の地位を失い、都市存亡の危機を迎えていた京都を、全国初の小学校や芸大、工業高校の創設、琵琶湖疏水や市電の開業などで見事に復興させた先人たち。その志と偉業に学び、共に挑み続ければ、様々な課題を克服し、世界文化自由都市の理想を実現できる。私は確信しています。

「日本に、世界に、京都があつてよかった」と多くの方に実感していただけるよう、本年も共に全力を尽くします。



平成二十九年 秋 旭日単光章

森村 義明 氏

京都府食肉生活衛生同業組合理事長

生衛業界の発展に尽力された永年の功績が認められ叙勲が授与されました。栄えある受章おめでとうございます。



# 栄えある受賞おめでとうございます

平成29年度生活衛生功労表彰受賞者 (敬称略)

## 厚生労働大臣表彰者

美容業	奥田 英一
喫茶飲食	浅沼 健夫
理容	小林 真人※

※中央推薦

## 中央会理事長表彰者

食肉	尾崎 一男
食鳥肉販売業	重田 久枝
飲食業	牧野 順二

## 知事表彰者

クリーニング	田崎 保男	喫茶飲食	澤本信太郎
公衆浴場業	吉本 誠	中華料理	松下 貞幹
麺類飲食業	矢野 敏弘	料理	北村 真純
食鳥肉販売業	上田喜一朗	飲食業	井上 極子
寿司	上川 満雄		

## 協議会会長表彰者

公衆浴場業	岸本 良信	中華料理	濱村 吉行
食肉	松岡 啓史	料理	田中 秀幸
食肉	笠置 庄三	飲食業	中西 行光
麺類飲食業	和田 浩成	飲食業	吉田 憲司
食鳥肉販売業	上田 行廣		



### ◆ 生活衛生営業経営研修会 (平成29年11月20日)

『ストレスは経営成功のもと ストレスは悪いという情報は誤りー』

講師：平安女学院大学 学長 山岡 景一郎 氏

「ストレス」は一般的に活力や生産の妨げになると思いがちであるが、考え方次第では人はストレスをプラスの力に変える能力があるという科学の知見と講師自身の豊富な体験談を交えながら、経営者として成功するためのストレスに対する心構えについてお話をいただきました。



## 生衛業の振興と生衛組合に関するアンケート調査結果 ⑦

組合員が「生衛組合に加入することを決めた理由（加入時に期待したこと）」について  
(複数回答)



「同業者や地域での人脈を作りたいかった(40.7%)」は、どの年齢階級別でも高い割合を示しており、40歳以上の年齢階級ではそれぞれ40%以上となっています。

●詳細結果は、当センターホームページ上において掲載を行いますので、組合組織の基盤強化や組合活動の活性化にご活用ください。

## 指導センター事業開催報告・お知らせ

### ◆ 第37回京都SeeLフェア

(平成29年10月29日)

京都市上京区・平安女学院において開催しました。台風接近の影響により、雨天開催となったにもかかわらず多くの方にご来場をいただき、各生衛組合がそれぞれに工夫を凝らした「SeeLプロの個性派屋台」や理容組合による「理容師によるフェイシャル美容法」、クリーニング組合による「プロのアイロンがけ実演」、麺類組合による「そば打ち実演ショー」、老舗料亭の味を学校の調理室で実習する「楽しい京料理教室」などにより、生衛業への理解を深めてもらう交流の機会とすることができました。



### ◆ 後継者育成支援事業 職場体験授業・出前授業

#### [職場体験授業]

・理容・美容・麺類・寿司・中華 各組合 全18店舗  
平安女学院中学校 (平成29年10月25日～27日)

掃除・挨拶の仕方、来店されたお客さまへの接客や配膳などに取り組んでいただきました。体験発表会で、働くことの楽しさやコミュニケーションの重要性など数多くの学びが挙げられ意義ある体験授業となりました。

#### [出前授業]

・クリーニング組合 京都市立洛風中学校 (平成29年11月28日)  
・理容組合 京都市立西京極中学校 (平成29年12月13日)

業界を代表する職人を講師に迎え、実演実習や仕事に対する向き合い方を伝えていただき、生衛業の一層の理解を深めてもらう機会となりました。



Sマークは、安全・安心・清潔の目印です。

標準営業約款登録日 平成30年2月1日(木)



### ● 無料税務相談会

日時 平成30年3月1日(木)・5日(月)  
13:00～16:00

※事前予約制(一人1時間まで)

場所 京都府生活衛生営業指導センター

申込先 当センターへご予約ください。  
TEL 075-722-2051

確定申告時期の直前に開催します。  
ご予約はお早めをお願いいたします。

平成29年分 確定申告  
申告書には マイナンバーの記載が必要です!  
詳しくは 確定申告 検索 国税庁  
所得税および復興特別所得税・贈与税  
申告と納税 平成30年 3月15日(木)まで

## Kyoto SeeL通信

Vol.192 2018 Winter

編集・発行人

山岡景一郎

公益財団法人  
京都府生活衛生営業指導センター

京都市左京区田中西樋ノ口町90

TEL 075-722-2051

<http://www.kyoto-seel.com/>

Homepage

Facebook

